

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和6年9月19日
時間	10時00分～11時00分
場所	北上本店営業所
	非公開

検印 非公開

営業所名 北上本店営業所 矢巾営業所

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※ 運行路線・経路における道路及び交通の状況

1 運行路線・経路における道路・交通情報の把握

①事前の情報把握

運行路線又は運行経路の工事状況等の道路情報、交通規制等の交通情報、気象状況、所要時間の目安などの情報を把握しておくことが重要であることを認識しましょう。また、ヒヤリハットなどの危険地点についても事前に把握することが必要であることを認識しましょう。

②適切な運行経路の選択

事前に運行経路に関する情報に基づき、最適な経路を選択することで、無理のない運行となるとともに、安全の確保にもつながることを理解しましょう。

2 情報に基づく安全運行のための留意点

安全を確保するため、ヒヤリハットなどに遭遇した危険地点などの事前情報を活用することは大切です。こうした地点は避ける配慮が必要ですが、やむを得ず走行する場合には、十分な注意が必要であることを認識しましょう。

事前情報を活かしていくためには、以下のような配慮が必要であることを認識しましょう。

○ 気象情報から、事前に準備すべき装備などについて検討し、積雪などの情報がある場合には、冬タイヤの装着や滑り止めの準備などをします。

○ ヒヤリハットや事故の多発する危険地点などは避けた運行ルートとすることが必要ですが、こうした地点は事前に位置を確認し、走行する場合には、十分な注意と慎重な運転が必要です。

○ 目的地までの所要時間が長時間となる場合には、適宜休憩をとり、安全に配慮したゆとりある運行が必要です。

裏面へ

	※ 9月の重点管理（高齢者の行動特性を理解して事故を防ごう）
	【高齢者との事故防止】高齢者 その行動を予測する
指導・教育の内容	● 高齢者との多発事故パターンの周知 道路右側から横断してくる高齢者との事故など、高齢者との多発事故パターンを周知して、運転者に注意喚起を行う。
	● ルールを守らない高齢者の存在を周知する 横断禁止場所の横断や信号無視など、ルールを守らない高齢者は少なくない。こうした高齢者がいることを周知して危険予測能力を高める。
	● 運転中は周囲の高齢者への配慮を忘れずに 高齢者は身体機能の衰えなどから、スムーズに道路を通行できない場合がある。高齢者を保護する運転を指導する。